

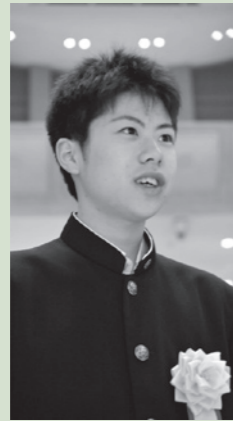
誓い、自分を見つめて。

真っすぐ前を見つめて、将来の夢や目標を堂々と伝えることができる…。この節目の大切さを十分に理解し、周りの人々への感謝の気持ちも忘れることのない皆さん。かくも自覚的であることがとても頼もしく、きっと未来の田村市を支えてくださることと大いに期待しています。



延松美優花さん
(滝根中)

将来は動物の医療関係の仕事に携わりたいので、そのためにも志望校に合格できるよう勉強を頑張りたい。



臼木雄大さん
(大越中)

立志式を迎えて14年間はあっという間だった。大人としての自覚を持ち、高校受験に向けて勉強をますます頑張りたい。



渡辺直城さん
(都路中)

将来は建築士になりたいので、勉強・部活に力を入れて志望校合格を目指し頑張りたい。



白岩和馬さん
(常葉中)

生徒会と応援団に所属して活動している。大人としての自覚を持ち、高校受験に向けて勉強を頑張りたい。



遠藤 恵さん
(船引南中)

去年は震災があって誰もが大変な1年だったが、無事に立志式を迎えられたことをとてもうれしく思う。将来は保育士になりたい。



安藤蕉平さん
(船引中)

現在は生徒会長として活動している。将来は警察官になりたいので、柔道部での練習にも、より力を入れたい。



三浦早人さん
(移中)

料理が趣味で、将来は調理師になりたい。そのために、高校受験に向けて勉強を頑張りたい。



佐藤雄太さん
(要田中)

立志式を迎えられて今まで育ててくれた家族や周りの人に感謝している。ものづくりが好きなので、将来は大工になりたい。



塚原悠太郎さん
(滝根中)

北海道に住んでいる祖父母に会うため、よく飛行機を利用していることから、航空関連の仕事に興味を持ち、将来はランドハンドリングの仕事に就きたい。



佐藤詩織さん
(船引南中)

立志式を迎え、気持ちを新たに勉強・部活に励みたい。好きな英語を生かし将来は海外で家具や雑貨などの売買を行う商社で活躍したい。

武 家社会で数え15歳で迎える「元服」になろう立
志式は1月12日、市文化センターで開催されま
した。

市内の中学2年生413人が出席、将来の夢、大人と
しての自覚に加え、ふるさとの復興に向け志を新たに
しました。

助川教育長が「自分を見つめ、しっかりとした志を立て
てほしい」と式辞、富塚市長が各中学校の代表者に



立志証書を手渡し、「震災前よりさらに素晴らしい市に
なるよう、土台を築き上げていく。(その上に建てる)
建屋は皆さんの双肩にかかっています」と激励の言葉
を述べました。

生徒代表の塚原悠太郎さん(滝根中)と佐藤詩織さん(船
引南中)が「大好きなふるさとを大切に思い精一杯生
きていく。周りの人を大切にする大人になりたい」と
力強く立志のことばを述べました。

式後はヴァイオリニストの増田太郎さんが「歩き出す
のは自分次第」と題し、講演とヴァイオリンの演奏を
披露。視力を失いながらも精力的に音楽活動に取り組
む姿勢を示し、前向きに歩み続けることの大切さを伝
えてくださいました。

平成二十四年 田村市立志式

14
years old